

# 学 園 通 信



No. 263

九里学園高等学校 P T A

2015.7.21 発行



米沢上杉まつり 川中島合戦 (5月3日 1学年)

## ● 特 集

# アメリカ・オーストラリア スウェーデンからの留学生





## 交流をしてみて

二年六組 江村 和奏

私は初めてホームステイの受け入れをしました。最初はとても緊張して何を話せばいいのか、どんな食べ物を出せばいいのか全く分かりませんでした。しかし実際にセントジョーンズベリーアカデミーの生徒が家に来るととても明るくて積極的に話しかけてくれました。緊張はしていましたが、それ以上の楽しさや経験をすることができ、幸せな時間を過ごすことができました。

## 交流への感謝

三年三組 伊藤 葵

私は、オーストラリア研修やTRACの生徒との交流を通して、日本では感じることでできなかった考え方や異文化を肌で感じることができました。はじめは、不安もありましたがそれを忘れるぐらいの楽しみや喜びを感じるようになってきました。言葉という壁もありましたが、コミュニケーションを通して壁をこえ、とても絆の深い交流と体験ができたことをとても感謝しています。ありがとうございました。



# ザ・リベリーナ・アングリカン・カレッジ



## 高等学校における

## グローバル教育

グローバル教育マネージャー  
シンキンス・シエーン

今や世界は経済や科学の発展により地球規模でのつながりを持つようになり、以前に比べて、人々の生活に大きく影響を及ぼすようになってきているのは周知の事実である。その結果、私たちの日常での行動は、世界への影響は大きくなり、地球規模で影響を与えるようになった。グローバル教育はこうした社会的変化に伴い、世界平和や社会繁栄へ向けて、協同的に生きるための能力の素地を養うことに主眼を置いた教育である。そのためには、日本の高等学校は学習システムに基づき、将来を担う若い世代を変革する必要がある。教師は生徒の学習過程全体の中で生徒の指導を行い、生徒の学習への意欲を損ねないよう動機づけを行っていく必要がある。

世界中の教育機関では生徒の二十一世紀型スキルにおける基礎力・思考力を向上させるために、二十一世紀型スキルをどのように教育システムへ統合していくかに重点を置いている。しかしそれ以前に、教師自身の問題解決や批判的思考、独創性、自信、自覚、そしてコミュニケーションなどの能力を自立、習得することが先決であろう。そして習得した能力を用いて、人間心理学的行動の概念を把握する必要がある。その結果、教師は生徒の模範となることができ、また生徒をより深く理解し、生徒一人一人の特性や、それに適する教育過程、そして現代の生徒に欠如している実践力の向上に貢献することができる。

グローバル社会と聞いたとき、たいてい「英語」という印象を持つのではないか。



## Trevligt att träffas!!

エラクララ・ウェスターlund

(はじめましての意味)

エラ  
ってよんでネ!!

Q1. 日本の好きな食べ物は?  
やきそば、ねりきり、すし、  
おにぎりです。

Q3. 何部に入っていますか?  
茶道部に入っています。

Q5. 九里の印象は?  
スウェーデンよりきびしいけど、  
みんなが親切で困った時助けてくれます。

Q8. 将来の夢は?  
日本語を上手にしゃべれるようになり  
たいです。それと楽しい仕事に就  
きたいです。お金のためじゃなくて、  
自分が楽しいと思える職場に行き  
たいです。

Q2. 日本の好きな言葉は?  
「なつかしい」です。

Q4. 家族(スウェーデン)  
お母さんと兄弟と住んでいます。  
三人兄弟です。妹は七才で弟は  
十七才です。

Q6. 日本の習慣でおどろいた事は?  
毎日お風呂に入る事とみんなが  
同じお湯を使うことです。



Q7. 日本にいたい事は?  
無理ですが日本でアルバイトしてみたいです。  
それかコンサートに行ってみたいです。

国際交流課では、社会で主体的に課題を解決するための二十一世紀型スキルを身につけたグローバル人材の育成を目標としており、そのためには①国際交流を通して外から自分を見つめ直し、違いを知る②生徒の考え方や人としての在り方、さらに生き方に影響を与える③学習や学校生活への動機付けや好ましい人格を形成するというサイクルを作れるような活動を行っています。四月にはアメリカ、オーストラリアからの短期訪問を受け入れました。また、十月には中国から高校生五十名の訪問受け入れも予定しています。二年生で国際理解コースを選択した生徒は、例年通りハワイ、オーストラリアで様々なことを学んでいきます。こういった活動を通して、世界で起こっている課題も、日常生活での出来事も、他人事ではなくジブンゴトとして考えられるような生徒に育っていかけてくれることを期待しております。

## 国際交流について

佐藤 健太

今日では会社の公用語として用いられており、世界と情報共有するために広く用いられている。しかし、文化、コミュニケーションの内容やその意味・理解が国によって多様に変容することも考えなければならぬ。異文化理解なしに、言葉を十分に理解することは不可能と言ってよい。世界言語における話者数の観点で見れば、英語は中国語やスペイン語より少ないのが現状である(話者数第三位)。そうした状況を考慮し、日本の高等学校では、英語は二十一世紀型スキルの必要条件であり、十分条件ではないことと認識する必要がある。

英語はコミュニケーションの手段に過ぎない。よって言語学習を行う上で、流暢さを高めるようなインプットとアウトプット双方の必要性が挙げられる。コミュニケーションの土台としての基礎的な語彙や文法、文法構造は重要であるが、それのみに重点を置くのは避け、リーディングやリスニング、スピーキングは実用的な場面での言語使用を理解するために必要であるとの認識を持つことが重要である。日本の高等学校の生徒は中学校で学んだ基礎的な英語を使う場面や機会が不足している状況にあるため、高等学校教員は生徒の生活に即した、意味のある指導計画を作らなければならない。教室内での生徒の学習を促進するような教材と並行し、メディア教材や科学技術の使用が非常に重要であり、教師は指導計画の内容や構造を言語使用や言語理解が生じるよう熟考する必要がある。

教師は英語を教えるのではなく、生徒自身に言語使用を促すべきである。意味伝達を目的とした平易な単語や言い回し、または身振り全てが生徒に考えさせるきっかけを与える。生徒の思考力・基礎力の向上に重点を置き、英語の言語使用を通して言語学習を行うことは、生徒の国際理解や英語力の育成の鍵であると言える。

# 平成27年度 PTA会長・各学年部長の方々からのメッセージ

## 将来の目標に向かって

PTA会長 齋藤 利幸



新年度が始まり早いもので三ヶ月が経ちました。一年生の皆さんはこ

の九里学園の生活によりやく慣れてきたころではないでしょうか。また、将来の目標を見つめる事ができましたか。ただなんとなくで高校生活を送るより、しっかりとした目標を持ってきつと心に残る三年間を送れる事でしょう。三年生のほとんどの皆さんは、部活動から離れ自分の思い描く夢(目標)に向かって今まさに必死に取り組んでいる事と思います。また、二年生の皆さんは部活動から三年生が抜けた今部活動はもとより学校生活でもリーダーシップを取りながら、自分自身の将来を決める大事な時でもあります。各学年ごとまた、一人ひとり立場は違いますが、きちんとした目標を持って行動すればなにも迷うことはありません。残りの高校生活を悔いの無いよう送られることを心よりお祈りいたします。

最後に、保護者の皆様には、九里学園や各支部の各行事、事業に積極的に参加し、生徒達と有意義な時間を過ごしていただきたいと思います。今後ともご協力よろしくお願致します。

## 『おご様』は神様

三学年部長 田井地 清



この時期になると思い出すことがあります。私の実家では、養蚕を営

んでいました。蚕を飼うのは、想像もつかないぐらい大変なことです。家全体にホルマリン消毒をしますが、その刺激臭からしばらく家には入れませんでした。さらに、茶の間などすべての部屋が蚕部屋になり、人間はトイレの脇で食事をしたものでした。しかも、毎日桑の葉を取って運んだり蚕へ与えたりと、一日中大忙しでした。子供の頃は、そんな養蚕がとても嫌で、蚕を憎んだこともありました。しかし、この蚕が置賜地区を救いを学びました。さらに、蚕のおかげで、私は大人になりました。祖父たちは、蚕のことを「おご様」と呼んでいました。虫に「様」をつける意味が、最近になってわかってきました。蚕は、「天(神)の虫」と書きます。まさに蚕は、自分にとっても置賜にとっても神様です。若者にも、このような置賜の歴史を知ってほしいと思います。

## 後悔だけはしないように

二学年部長 川又 康幸



人生で重要なターニングポイントはいくつかあるが、高校生と

しての三年間は、そのなかで最も大切なポイントの一つといってもよいだろう。しかし今思い返すと当時の自分が、そのように意識して日々過ごしていたかについては疑問だ。そこで自分が高校生活で「あの時やつておけば・・・」という後悔を話そうと思う。一つ目は勉強面だ。ざっくり言うとなんかサボりすぎてしまったこと、毎日宿題を出すことはなく授業中に寝ることもあった。あの時勉強しとけばという後悔だ。そして二つ目は、もともと色々な友達と話しておけばよかったということだ。誰でも「なんだかウマが合わないなあ」と思うことがあるだろう。私も少し話してみただけなのに「ああコイツとはいいや」と思ってしまったこともある。一言二言して中身が分かれば苦労しない。豊かな人間関係を作る為にも、できるだけ色々な人と関わってほしい。この二つを心掛けて高校生活を送れば、少なくとも私も恵まれた高校生活を送れるはずだ。頑張れ!

## チャレンジ精神

一学年部長 加藤 淳一



この度、一学年部長を仰せつかりました加藤と申します。不慣れでは

ありますが精一杯努めて参りますので、どうぞよろしくお願致します。入学から約三ヶ月が経ちましたが、初めての事ばかりで不安と緊張の連続です。初めてであったり、経験の少ないことは誰もが不安に思ったり、緊張する事であると思います。それは親も子も関係なく、初めての事にチャレンジしていかなくてはなりません。成功や失敗、勝ち負けなど、必ずしも良いことばかりではありませんし、成功から学べることも、失敗から学べることも、それぞれ違うかもしれませんが、それは経験しなければ分からないことだと思いますし、経験をするにはどんどんチャレンジして行くことが必要です。出来ない理由を考えないでどうすれば出来るかを考える事が大事だと思います。ということで、一年間大役を果たせるように頑張って参ります。皆さんも失敗を恐れずチャレンジして行きましょう。



# ありがとう 体育館!!



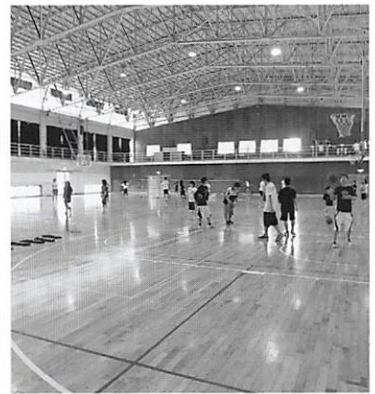
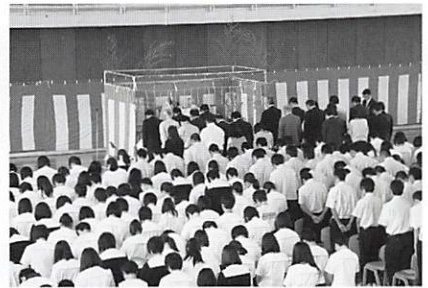
## どんな施設作りをめざすのか

校長 九里 廣志

「厳粛な式典が繰り広げられてきた講堂」と「元気な明るい声が弾んだ体育館」、この二つの顔で本校の多くの生徒たちを育ててきた施設を、耐震目的で作り変えなければならなくなった。冬のことも考えると新たな施設に作り替えたいのだが、基準によって、同床面積の施設にすることが要求されている。発想を『楽しい活動のできる多目的体育館に!』として知恵を絞ってきた。保護者を始め多くの方々のお力をお借りする。心から感謝です。



体育館の建設当時の写真



## やっぱりありがとう

富樫 宏之

喜怒哀楽。ずっしり想いの沁み込んだ体育館。半世紀にわたりありがとう。忘れない。

## 体育館の思い出

バスケット部 三年三組 佐藤 真菜

歴史ある九里の体育館で、仲間と共に部活できたこと嬉しく思います。ありがとうございました。

## 感謝 体育館練習は記憶の中に今も

吉田貴美子

体育館の夏の暑さ、冬は雑巾が凍る寒さ、部活で流した汗・涙は一生の宝物。感謝。

## 感謝

バドミントン部 三年六組 高橋 達也

仲間や先生と毎日羽根を打った体育館。最高の思い出とたくさんの出会いをありがとう。

## ありがとう。

バドミントン部 三年四組 高瀬 結耶

今までお世話になりました。そして、たくさんの楽しい思い出をありがとう。

## ボランティアを終えて

一組 松坂 駿

今回の被災地ボランティアを終えて、震災から約四年ぐらい時間がたちましたが、まだまだ一部しか復興していなかったというのが現実でした。色々な人の話を聞かせて頂いて今回の震災や津波で亡くなった人達の事を考えて必死に生きていくと決めました。

## 宮城・被災地ボランティア

一組 我妻 蒼生

今回の被災地ボランティアを通して、改めて震災の恐ろしさを感じました。

特に、大川小学校の跡地を見た時には驚きました。その他にも被災者のお話を聞いてとても心に残りました。

これからは、命を大切にしていきたいです。

## 心の強さ

三組 渡部 花菜

今回の学年行事を通して、人の心の強さを感じました。たくさん辛い事があったのに笑顔で私達をむかえて下さった被災地の方々。逆に私達が生きる力や命の大切さを改めて学ぶ事が出来ました。さらなる復興を願い精一杯生きていきたいと思いました。



ホタテ貝の山、山、山…



真剣です

# 一学年 ～ 平成27年5月28～29日

## 被災地ボランティアに参加して

三組 小貫 夢海

被災地ボランティアに参加して、私はもう四年も経っているからほとんど復興しているだろうと思っていました。ですが、実際行ってみたり、話を聞いたたりして、まだまだ復興していかないのだと感じました。地震や津波のおそろしさを肌で感じる事が出来ました。



僕達、頑張っています。



すしピース♡

## 悲しみに立ち向かう勇気

四組 外山 幾恵

今回の学年行事を通して、改めて震災の恐ろしさを体感する事が出来た。私達に出来ることは少ない。しかし、伝えていくことは出来る。私達は、この無慈悲な震災の事を決して忘れてはいけません。現実と向き合い、闘い、そして、伝えていかなければならない。

## 命の大切さ

四組 小杉 音々

私は、大川小学校の跡地を見て、コンクリート建ての校舎が壊れるほどの大きな津波に多くの生徒が巻き込まれ、亡くなったかと思うとすぐ胸が苦しくなりました。

これからは、普通の生活ができることに感謝に、命を大切にしていきたいと思いました。



## 被災地で感じた事

二組 門脇 瑠太

今回の被災地ボランティアを終えて、改めて震災の恐ろしさを知りました。大川小学校では、私達と同年代の多くの児童が命を落としました。生きたくても生きられなかった人達の方まで、強く生きていかなければいけないと感じました。

## 被災地で思ったこと

二組 小島 捺生

今回の二日間、被災地を訪問していろいろな人の話を聞きました。家族を失った人、一ヶ月以上電気がこなかった人など、震災は多くの人達の命を簡単に奪っていきましました。僕はこの大震災で命の大切さをよく知りました。命を大切にし残りの人生を懸命に生きたいです。



みんな



おいしそうなワカメ

## 被災地ボランティアを終えて

六組 唐澤翔太郎

僕は被災地ボランティアに行ってきました。震災については被災地の方々も様々な方向に、意見が分かれています。最終的には同じ所に到達していました。それは、自分の命だけは絶対を守らなければならぬということでした。これを踏まえ、自分の意見を合わせつつ生活に活かしていこうと思いました。

## ～ 宮城・被災地ボランティア



いただきま



石巻専修大学での講義

## 学年行事を終えて

六組 高橋 雅

私は被災地に行き、当時のお話をたくさん聞いていろいろなことを感じました。特に思ったのは、四年経った今でも心の傷はまだ癒えていないのではないかということです。そこから、今私に何ができるのかを改めて考え直せました。とても貴重な体験になりました。

## 伝え続ける

五組 鈴木 優花

私は初めて被災地を訪れました。久しぶりに見た海は静かすぎて怖かったです。津波の印象が強いです。

今回の体験で、津波の怖さと命の大切さを改めて学ぶ事が出来ました。そしてこれは繰り返し伝え続けるべきメッセージだと思います。

## 「命を大切にしてください。」

五組 渡部 稀子

「命を大切にしてください。」この言葉は、被災した方々が口をそろえて言った言葉です。二〇一一年三月十一日がどれだけ怖かったか、その後の毎日どれだけ怖かったか、話を話して頂きました。しかし、生きている事に意味があると教えて頂きました。



## 2学年男子 5/28~29

### 面白山・山寺登山

#### 学年行事を振り返って

二年一組 松木 朱利

今回僕達は登山をしてきて、自然に触れるとても貴重な体験をさせていただきました。登山中、登山客の方とすれ違う時に、自分から挨拶する人が多く良かったと思います。しかし、ホテルでの行動では、時間どおり集まれなかったり、夕食や朝食での態度がイマイチでした。今回の行事では特に時間の面で課題があったので改善していきたいです。

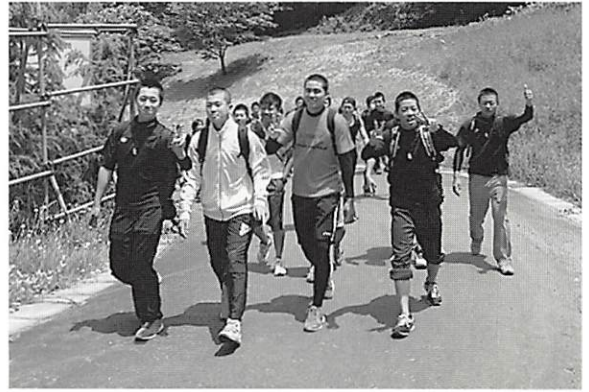


#### 学年行事から得た学び

二年二組 川又 侑汰

私たち二年男子は、例年とは違い、面白山と立石寺の登山でした。面白山では、自然の音と風景を肌で感じる事ができました。

また松尾芭蕉が俳句を詠んだ場所でもある立石寺では、千百段の階段を登り切りクラスや学年の仲間と達成感を味わうことができました。とても有意義な活動でした。



## 二年プログレスコース

### 仙台キャンパスツアー

#### 初めてのキャンパスツアー

二年六組 山口 朱里

仙台キャンパスツアーに行って一番印象に残った大学は、東北薬科大学です。薬品の多さと実験器具の多さに驚きました。また、大学の授業風景や、学生の人達を見て大学生活の様子を肌で感じられたのでよかったです。

これからの進路選択に役立つ学年行事になりました。受験に向けて頑張っていきたいと思います!!





**2学年女子**  
5/28~29

**猫魔ヶ岳**

**登山で学んだこと**

二年三組 齋藤つづき

私は、登山をして自然のすばらしさと支え合うことの大切さを学びました。山の自然はとても気持ち良く、足を進めるたび山の様々な表情を見ることができました。一人ひとりがお互いのことを考えて声をかけたり、手をつないで支え合ったりできたのでとても楽しめましたし、より絆を深めることができましたとてもよい学年行事だったと思います。



**最初で最後の登山**

二年五組 網代 真子

見渡せば木ばかりのところ約五時間の滞在。様々挑んだ登山は、登るにつれてさらに嫌な気持ちになっっていくばかりでした。急斜面はもろろ足場も悪く、やつとの思いで辿り着いたコンクリートに感激しました。登山そのものは辛かったのですが、山の頂上でお昼を食べたり、写真を撮ったり、写真を撮ったり楽しい思い出もできました。翌朝は遅刻してしまい、反省すべき点もありました。この多い学年行事になりました。





## 研修旅行を通して

三年一組 村上 佳希

私は今回の学年行事で、庄内地方へ行ってきました。一泊二日という短い間での研修でしたが、内容の濃いものとなりました。減多に体験することのできない地引網の体験などで庄内の自然にふれ、出羽三山神社の階段を一段一段登り、庄内の歴史を感じることもできました。途中、ハプニングもありながらもクラス全体がまとまり、楽しく研修を終えることができました。この研修で学んだ事を活かし、残りの学校生活を過ごしたいです。



## 庄内旅行

三年二組 五十嵐健一



三年生の学年行事は、庄内旅行でした。自分たち三年生は、最後の学年行事でした。クラス別で行動し、三年二組は、羽黒山に登ってきつという言葉しかありませんでした。その後は、庄内の有名な所に行きました。いろいろな話を聞き、学んできました。バスの中で見る庄内平野はすごくきれいでした。

今回の学年行事は、良い学年行事にできたと思います。また、これから先の行事も良い行事にしていきたいです。

## 即身仏

三年六組 勝見 七樹

一泊二日の間、僕たちは色々な名所へ行きました。その中で一番印象に残ったのは海向寺に行っていたことです。一寺に二体の即身仏が祀られているのは全国でもここだけと聞いてすごいなと思います。山形にも全国唯一のものがありうれしいなとも思いました。そして、即身仏のなり方を聞いたときはすごく驚きました。そこまでの理由がなんなのかすごく疑問に思いました。今後、調べてみたいと思います。



## 庄内浜



最上川舟下り





## 最後の学年行事

三年三組 寒河江亜美

私達三組は、今回の庄内旅行で庄内地方を理解するとともに、クラスの団結力を深めるという事を目的として研修してきました。そのなかでも進学クラスとして東北公益文科大学へ行き、大学の雰囲気を感じとったり、講話を聞いたりした事で進学への意識が高まったと思います。また、研修場所での気持ちの切り替えもはやく、時間を守ってスムーズに行動できて良かったです。高校生活最後の学年行事で三組の皆と最高の思い出がつくれました。



## 担任不在の二日間

三年四組 熊島 春華

私達四組は、二日間の庄内旅行で約七つの施設を巡り、様々な体験もしてきました。羽黒山出羽三山神社では約二千段もの階段を登り、頂上で参拝をしました。天気にも恵まれ、いい汗を流すことができました。その後も庄内映画村や釣り体験、加茂水族館などへ行き充実した二日間となりました。

今回で最後の学年行事ということもあり、全員で楽しむことができました。横山先生はヘルニアになってしまい来れませんでした。

## 最後の学年行事

三年五組 小杉 百々

私達五組にとって今年最後の学年行事は庄内旅行でした。山形県に住んでいても、他の地方の歴史や建造物を知るとい機会が無かったので、この庄内旅行はとても勉強になった旅行でした。旅行の中で、羽黒山の石段を登ることがあり、炎天下とても暑かったけど班員の仲間と声をかけ合いながら皆登りきることが出来たので良かったです。クラス全員怪我もなく、思いきり楽しめた旅行になりました。



海のつりぼり

庄内映画村



ろうそくの絵付



# 陸上部39年連続インターハイ出場決定!

## 全国高等学校陸上競技対校選手権大会 東北地区予選会

平成27年6月13日～16日：福島県 あづま総合運動公園 とうほうみんなのスタジアム

【入賞者】決勝6位入賞者までが和歌山で開催されるインターハイに出場します。

男子100m	決勝3位	齋藤 諒平	(1年・米沢3)	10秒78
男子200m	決勝3位	齋藤 諒平	(1年・米沢3)	21秒59
男子800m	決勝3位	伊藤 貴彦	(3年・小国)	1分53秒75
男子110mH	決勝6位	渡邊 成	(3年・明倫)	14秒95
男子400mH	決勝4位	渡邊 成	(3年・明倫)	52秒73
女子100m	決勝3位	村山 詩織	(3年・米沢5)	12秒07
	決勝7位	菊地 葵	(2年・長井南)	12秒21
女子200m	決勝2位	菊地 葵	(2年・長井南)	25秒02
	決勝3位	村山 詩織	(3年・米沢5)	25秒08
女子100mH	決勝優勝	根木真理子	(3年・米沢3)	13秒97 大会新
女子400mH	決勝3位	根木真理子	(3年・米沢3)	1分01秒69 自己新
	決勝8位	曾我 実来	(3年・米沢5)	1分04秒37
女子400mR	決勝優勝	高橋かおり	3年・村山 詩織	3年・根木真理子
			3年・菊地 葵	2年)
				47秒12
女子1600mR	決勝4位			

【村山 詩織 3年・曾我 実来 3年・小貫 夢海 1年・根木真理子 3年】 3分51秒22

女子走幅跳 決勝優勝 高橋かおり (3年・川西) 5m98

女子総合優勝 (2年連続4回目)

## 水泳県大会

男子200m個人メドレー	12位	梅澤 侑己	(3年・米沢4)
男子100m平泳ぎ	16位	梅澤 侑己	(3年・米沢4)
男子200m自由形	13位	長沼 時	(2年・米沢3)
男子100mバタフライ	12位	長沼 時	(2年・米沢3)
女子100m背泳ぎ	7位 (東北大会出場)	松木 理香	(3年・長井南)
女子200m背泳ぎ	6位 (東北大会出場)	松木 理香	(3年・長井南)
女子50m自由形	8位 (東北大会出場)	加地 明歩	(2年・米沢4)
女子100m自由形	10位	加地 明歩	(2年・米沢4)
女子100m平泳ぎ	3位 (東北大会出場)	菊地 遙	(2年・白鷹東)
女子200m個人メドレー	3位 (東北大会出場)	菊地 遙	(2年・白鷹東)
女子200m自由形	4位 (東北大会出場)	黒田 侑花	(1年・米沢3)
女子400m自由形	4位 (東北大会出場)	黒田 侑花	(1年・米沢3)
女子400mメドレーリレー	4位 (東北大会出場)		
女子400mフリーリレー	6位 (東北大会出場)		
女子総合	6位		

## 2015 君が創る近畿総体

期間:7/29～8/2

場所:和歌山県紀三井寺陸上競技場

## スクール カレンダー

スクールカレンダー

8/28(金)～29(土)

九里祭

9/10(木)

創立記念式典

10/8(木)

体育祭

11/9(月)～14(土)

ユニ男子国内研修

(沖縄)

11/10(火)～14(土)

ユニ女子国内研修

(沖縄、東京、奈良・京都)

12/2(水)～12/4(金)

定期考査

プロ・ハワイ

オーストラリア

(ユニ国外)

日程調整中

## 編集後記

生徒の皆さん、学年行事いかがでしたか？

それぞれに学校を離れての貴重な体験を、心と体で感じられたのではないのでしょうか。

又、部活動をはじめとする各活動とも新メンバーと共にスタートし、気合いがビシビシと感じられるところ。ただ、一年生の中にはやっとな慣れてきた人も居れば、張り切り過ぎたり緊張の余り、疲れが出てきている人が居るかもしれません。

どんな時でもWe are Familyで、学園生活を楽しめればイイのかなと思います。

さて広報委員会では、皆さんに幅広く「特集記事」等の要望を随時受け付けておりますので、よろしくお願いたします。(松田 高志)